

再選の中村知事 開かれた県政を継続

4月10日行われた統一地方選挙の結果、再選された中村知事が12日、当選後、初めて登庁した。

その後、庁議を開き選挙期間中の報告を受けた知事は10時30分から再選後初の定例記者会見を行った。

この中で知事は二期目の県政の基本的取り組み姿勢として、県民総参加の県民のための県政を推進するという従来の姿勢を変えないで、特に対話を重視した信頼と合意

の県政、地方主導型の県政を進めること。

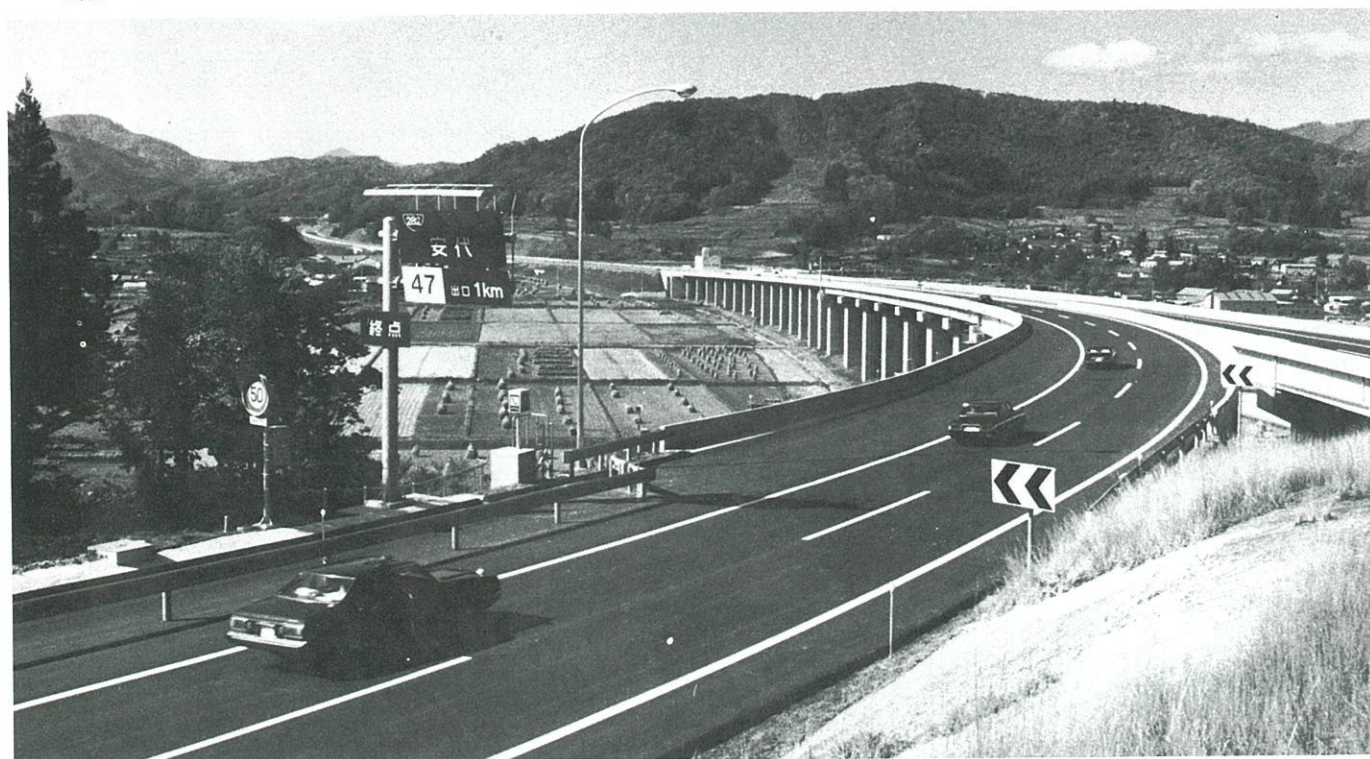
また、本県は今、高速交通時代という画期的な発展の段階を迎えていることから、これを有効に、前向きに受け止め、今後は北東北の中核機能をより高めるために、県土を縦・横につなぐ交通体系の整備、地域対策の問題としては特に、県北地域や三陸沿岸の振興、高齢化時代への対応、青少年の健全育成など、岩手の地域発展のために組織立てて県政を推進していくと述べた。



▲ 定例記者会見で二期目の所信を述べる中村知事



▲ 再選後に初めて開かれた庁議



▲ 高速道路もいよいよ県土を縦断。これに結ぶ幹線道路の整備も着々と進められる



花巻空港から初の 国際チャーター便

ジェット化された花巻空港初の国際チャーター便が4月7日、116人の観光旅行団を乗せて飛び立った。

県内各地から集まった一行は、出発に先立って空港エプロンで行なわれた出発式に臨んだ後、顔をほころばせながら、日本航空のボーイング727型機に乗り込んだ。一行は福岡空港で乗り換え香港に向かったが、本県と香港がわずか7時間足らずで結ばれた。

無事故を願い チビっ子広場

新入学や新入園の児童を交通事故から守ろうと4月4日から13日までの10日間、子供の交通安全県民運動が展開された。

運動に先立って3日には盛岡市大通りの歩行者天国で「交通安全チビっ子広場」が開かれた。広場には買い物途中のお母さんたちに手を引かれた子供たちが大勢参加。交通巡視員のぬいぐるみ人形や腹話術、指人形劇の熱演を楽しみながら交通安全について学んだ。



行政改革懇話会 中間報告を行う

県の行政改革について検討している行政改革懇話会は4月19日、県庁で第3回懇話会を開催。県の行政改革に関する中間報告をまとめ、中村知事に報告した。

報告は総論に関するもので、地方自治協会の行政事務運営改善調査報告を中心に作成した。今後懇話会では「行革の集い」などを開催して県民の理解を求め、その意向を十分吸収して各論の検討に生かす意向。10月末までには最終報告を行う考えだ。

